



福井市安居小学校

安居っ子だより

第14号

令和5年3月16日

3/14 令和4年度 第136回福井市安居小学校 卒業式



今年度は来賓としてPTA副会長の中川大輔様にご臨席いただき、3年ぶりに全校児童が一堂に会して卒業式を行うことができました。卒業生も在校生も短時間の練習で臨んだ式でしたが、卒業生は在校生・保護者の方々の見守る中、一人一人卒業証書を受け取ることができました。在校生からの心のこもったお別れの言葉や卒業生による卒業の歌など温かい雰囲気にも包まれた卒業式になりました。

<校長式辞> (一部抜粋)

本校を巣立つ34名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

六年間という長い小学校生活を終えて、今、皆さんの心にはたくさんの思い出がよみがえっていることでしょう。楽しかったこと、うれしかったこと、悲しかったことや悔しかったことなどすべての経験がみなさんをここまで大きくたくましく成長させてきました。

皆さんが生きていくこの二十一世紀は、少子高齢化の進行、グローバル化に伴う国際競争の激化、人工知能やロボットの発達による産業構造の変化など、将来の予測が困難な時代だと言われています。そのような中、輝く未来を創っていくには、答えの見えない課題に対しても意欲的に取り組む姿勢が必要となります。

そこで、卒業の門出にあたり私からみなさんに大切にしてほしいこととお話しします。それは「自分で判断し行動する」ということです。周りの人から指示されて動いたり友達の行動に流されたりすることなく、自分自身でしっかり考え、正しく判断し、それに従って行動することができるようになってほしいと思います。

自分も周りの人も幸せになるために、どんな判断を下せばよいのか、ぶれることなくしっかり考えられるようになってください。また、自分の判断で行動するからにはその行為の結果に責任をもつのも自分です。よい結果であっても悪い結果であってもすべては自分が決めたことです。人のせいにはせず、結果をしっかりと受け止めて次の行動に生かしてほしいと思います。それが、皆さん一人一人のさらなる成長につながっていくはずで、正しく判断することは難しいことです。失敗も数多く経験するかもしれません。それでも自分で決めることから逃げず、理想の自分の姿を追い続けてほしいと思います。

六年生を送る会で「いつも心に太陽を」というメッセージを皆さんに贈りました。これはアメリカの政治家の言葉

ですが、続きがあります。

「いつも心に太陽を いつも瞳に微笑みを いつも唇に感謝を」
どんなときも明るい心と態度で、周りに感謝しながら、自分で判断して一步一步前進していきましょう。



一年間、本校の教育活動にご理解・ご支援をいただき、誠にありがとうございました。

この学校だよりは、学校のHP (<http://www.fukui-city.ed.jp/ago-e/>) でもご覧になれます。

----- 切り取り線 -----

「児童の声・保護者の声・地域の声」ご意見やご感想をお知らせください。学校 HP からのメールでも構いません。

年 名前

(無記名でも結構です)